



新年 ～心新たに～

校長 馬渡 照代

保護者の皆様、地域の皆様、あけましておめでとうございます。旧年中は、本校の教育活動に対しましてご理解・ご協力を賜り、心より御礼申し上げます。令和6年も心を新たに、子どもたちが安心して学校に通い、安全で豊かに学校生活を送れるよう、教職員一同、一人ひとりをしっかり見守り、導く所存です。本年も、どうぞ、よろしく願いいたします。

しかしながら、新年早々、北陸地方は、大災害に見舞われ、多数の方が亡くなられました。心より哀悼の意を表します。また、未だに安否不明の方や怪我をされた方、そして、寒い中、3万人近くの避難生活を送っている方々がおられます。毎日報道を見ては心が痛むばかりですが、1日も早く復興されることを心より願っております。

さて、昨年の11月25日、ヤギのメイに、ついに赤ちゃんが産まれました。予定日の23日は、早朝から見守っていましたが産まれず、翌日も兆候が見られなかったため、諦めてその日は帰りました。その次の日、「落ち着きがなくそわそわしているので、今、タクシーで向かっています。」との連絡が担任から入りました。私もヤギカメラで見ていたのですが、確かにメイは座り込んでいて、ハアハアと呼吸が荒くなっていました。すると、程なくしてメイが立ち上がり、子ヤギの頭がお腹から見え始め、次の瞬間、ポトリと子ヤギが地面に落ちました。子ヤギ誕生の瞬間でした。産まれたばかりの子ヤギをメイが一瞬懸命舐め（体を冷やさないためだそうです）、子ヤギは、何とか立ち上がろうとトライしては倒れ、それを何度も繰り返していました。



私は、親子の愛情溢れる様子を目の当たりにして、とても神々しい気持ちになりました。動物の赤ちゃんの誕生は、テレビで見ることがあっても、実際に目にするのは1度もなかったので、見ることでとても幸せだとも思いました。子どもたちにもオンラインで配信され、その後、早朝にも関わらず、たくさん子どもたちと保護者の方々が子ヤギを見に来ました。もちろん、子どもたちにとっても、生命の神秘、命の尊さを学ぶ大変よい機会となりました。2年かけて教師が伝えたかった「子どもたちに、ヤギの世話を通して、生命に向き合うことの意味と大切さを学ばせたい。」という思いが実現した瞬間でもありました。

その後、赤ちゃんは、無事メイの乳房にたどり着き、美味しそうに初乳を飲んでいました。メイからも、大仕事を終えたという安堵感が感じられたような気がしました。子どもたちは、メイのためのご飯や飲み水を準備したり、小屋をきれいに掃除したり、いつも通りのお世話をしていました。

後日、子どもたちの真剣な話し合いと投票によって、子ヤギの名前は、「おまめ」に決まりました。名前の意味などは、「文化祭」で、子どもたちが張り切って説明することと思います。学校にお立ち寄りの際は、ぜひ、「おまめ」に会いに行ってください。その可愛い姿を見ると、皆さん、きっと幸せな気持ちになれることと思います。

また、先月9日には、本校で「生活科・総合的な学習（大岡の時間）」の公開授業研究会が行われ、全国各地から多くの先生方が参観されました。どなたも大岡小の授業実践に、日頃から期待と関心を寄せられていましたので、授業で大岡っ子が熱心に語り合うことを楽しむ姿、探求しようとする意欲的な様子を存分にご覧いただくことができて本当によかったです。

「大岡の時間」は、これからも続きます。各クラスが、3月にはどのようなゴールを迎えるか、期待が膨らみます。それらの発表の場である「文化祭」が、益々楽しみになってきました。保護者の皆様も、ご期待ください。

最後になりますが、新しい年を迎えると同時に、令和5年度は、あと3ヶ月で終了になります。6年生は、卒業、そして進学に向けて気持ちを高めていく時期になります。下学年の子どもたちは、お世話になった6年生との別れを惜しみつつ、感謝の気持ちを込めて卒業式に向けての準備を進めます。学校中が卒業式を意識した毎日になりますが、各学年の1年間のまとめもしっかり行っていきたいと思います。保護者・地域の皆様には、これからもご理解・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。